

第13回 労災事務管理士技能認定試験

令和3年3月実施

■注意事項

1. この問題の解答は、現在施行されている法令等によります。
2. 答えは別紙解答用紙に黒鉛筆（BまたはHB）で記入してください。
※解答を訂正する場合は、消しゴムを使用するか、二重線で消して近くの余白に書き直してください。
3. 解答用紙の所定欄に受験番号と氏名をはっきり記入してください。
4. この試験問題用紙は、試験終了後、答案と一緒に返送してください。

■試験問題（10問）

問1～問8 選択問題

問9、問10 レセプト点検問題

■算定条件

特別な注意書きがない限り次の条件に従います。

- ・労災保険指定医療機関
- ・診療時間：月曜日～金曜日 9：00～18：00
土曜日 9：00～12：00
- ・休診日：日曜日、祝日、12月29日～1月3日
- ・初・再診の紹介率・妥結率での減算には該当しない。
- ・検査は特記がない場合は、すべて自院で実施する。
- ・投薬に関しては、医事会計システムの電算化が行われている。
- ・診療内容及び診療明細書の日付は2021年のカレンダーに基づきます。

※カルテ等は試験用の創作であり、医学的事実に基づいたものではありません。

受験番号： _____

氏名： _____

問1 次の各項のうち、正しいものにはA、誤りのものにはBを記入しなさい。

- (1) 労災保険法では、原則として労働者を1人以上使用するすべての事業が適用事業とされ、事業主は労災保険への加入を義務付けられている。
- (2) 交通事故による通勤災害の治療費は、自賠責保険より労災保険が優先する。
- (3) 労災保険の保険料は事業の危険度等により決められ、事業主と労働者が負担する。
- (4) 労災保険に加入している事業で働くパート社員は適用労働者となる。
- (5) 事業主が行う定期健康診断で異常があった場合、二次健康診断結果に基づく特定保健指導は、医療保険から給付される。

問2 次の各項のうち業務災害にはA、通勤災害にはB、どちらにも該当しないものにはCを選びなさい。

- (1) 就業時間中に事務所の給湯室から火災が発生し、腕をやけどした。
- (2) 通勤途中に立ち寄った公衆トイレで足を滑らせ、転倒し捻挫した。
- (3) 配達中に荷物が足の上に落下して負傷した。
- (4) 会社帰りに映画館に立ち寄り、その後、帰宅途中に通勤経路の駅の階段で転落し負傷した。
- (5) 工事現場で作業終了後、現場の清掃中に落下物で負傷した。

問3 次の各項について、保険給付の内容・種類を下記から選びなさい。

- (1) 通勤災害で傷病が治癒したあとに障害等級10級の障害が残った場合に支給。
- (2) 障害者となった労働者の子供が、保育を必要とする場合に支給。
- (3) 傷病補償年金を受給している者で、常時介護を要する場合に給付。
- (4) 通勤災害で本人が死亡した場合、遺族に対して給付。
- (5) 業務災害による療養のため休業し、賃金が支払われない日が4日以上に及んだ場合に給付。

- | | | | |
|-----------|--------------|------------|------------|
| A. 休業給付 | B. 休業補償給付 | C. 労災就学援護費 | D. 遺族給付 |
| E. 介護給付 | F. 労災就労保育援護費 | G. 障害一時金 | H. 傷病年金 |
| I. 介護補償給付 | J. 傷病補償年金 | K. 遺族補償給付 | L. 障害補償一時金 |

問4 次の各項について、特掲料金で算定するものにはA、特例点数で算定するものにはB、健保点数で算定するものにはC、特例取扱いで算定するものにはDを選びなさい。

- (1) 外来で院内処方の際に発行した薬剤情報提供料
- (2) 診療所で再診時に右下腿～足に行った副木固定
- (3) 初診患者の汚染している創面に行った初診時ブラッシング料
- (4) CT撮影を月に2回行った場合の2回目の撮影料
- (5) 入院時食事療養費

問5 次の（ ）に適合する正しいものを下記から選びなさい。

- (1) 労災保険における「治ゆ」は（ ）が認定する。
- (2) 市町村が開設する病院で行う労災診療の費用は、1点あたり（ ）で算定する。
- (3) 業務災害で労災保険指定医療機関を受診する場合、医療機関に提出する書類は（ ）である。
- (4) 四肢特例加算を行い小数点以下の端数が生じた場合、1点未満の端数は（ ）して算定する。
- (5) 振動障害に係る常温下で行う手指の皮膚温検査は（ ）につきで算定する。

- | | | | | |
|-------------------|----------|---------------------|---------|--------|
| A. 10円 | B. 11.5円 | C. 12円 | D. 担当医師 | E. 切捨て |
| F. 労働基準監督署長 | G. 両手 | H. 切上げ | I. 労働局長 | J. 1指 |
| K. 片手 | L. 四捨五入 | M. 療養補償給付たる療養の給付請求書 | | |
| N. 療養給付たる療養の給付請求書 | O. 1指1回 | | | |

問6 次の各項について、正しいものを選びなさい。（外来管理加算（特例）は考慮外とする）

- (1) 初診時に救急医療を行い、8日間入院した場合の救急医療管理加算は（A. 6,000円
B. 42,000円 C. 48,000円）となる。（様式第5号持参、120床病院）
- (2) 救急初診（診療時間内）の患者に熱傷処置（左下腿120cm²）を行った。診察料及び処置料は
（A. 5,760円+147点 B. 7,010円+147点 C. 7,010円+221点）となる。
（様式第5号持参、100床病院）
- (3) 救急初診（時間外）の患者に汚染部のブラッシング後、創傷処置（左足80cm²）を行った。
処置料は（A. 78点 B. 169点 C. 236点）となる。（様式第5号持参、診療所）
- (4) 再診時に背部に湿布処置（半肢の大部）、両膝と両肩にホットパックを行った。
この場合の処置料の合計は（A. 141点 B. 159点 C. 212点）となる。（診療所・負傷）
- (5) 診療時間外の21時50分に来院した患者に22時10分から足の指2本に骨折非観血的整復術を行った。
手術料は（A. 3,024点 B. 3,888点 C. 7,776点）となる。（様式第5号持参、80床病院）

問7 次の各項について、請求合計点数を下記から選びなさい。

（同一患者、外来、再診時、外来管理加算（特例）を考慮する）

- (1) 左前腕（80cm²）、左腹部（80cm²）の切傷にそれぞれ創傷処置を行った。（150床病院）
- (2) 運動器リハビリテーション（Ⅲ）を股関節に20分、右膝介達牽引、腰部ホットパックを同一日に
行った。（病院50床）
- (3) 右眼に点眼と精密視野検査を行った。（診療所）
- (4) 右手の指3本に骨折非観血的整復術を行った。（診療所）
- (5) 左手第3指の筋肉に達する切創（3cm）に創傷処理を行った。（120床病院）

- | | | | | | | |
|---------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|
| A. 90点 | B. 115点 | C. 129点 | D. 130点 | E. 175点 | F. 181点 | G. 215点 |
| H. 268点 | I. 940点 | J. 2,500点 | K. 2,880点 | L. 5,760点 | M. 8,640点 | |

問8 次の条件の労災指定医療機関に業務災害の負傷により午後2時就労先から入院した場合の令和3年3月分の請求について、(1)～(5)の各問に答えなさい。

- ・ 病院 (195床、地域一般入院料2、医療安全対策加算2、診療録管理体制加算2、医師事務作業補助体制加算2 100対1、データ提出加算2)
- ・ 労災治療計画を策定し令和3年3月3日に文書で説明
- ・ 入院期間 令和3年3月2日～3月11日
- ・ 所在地 大阪府大阪市 (2級地)
- ・ 病衣貸与 入院初日から全日貸与
- ・ 個室収容 (要件①、②-エ) 入院初日から全日 (1日9,800円)
- ・ 食事療養 (I)、食事はすべて常食を提供
(入院当日食事提供なし、退院日の11日は朝食のみ提供、他はすべて1日3食提供)

(1) 入院基本料と入院基本料等加算

- A. 15,178点 B. 16,318点 C. 17,756点 D. 19,528点 E. 19,678点

(2) 病衣貸与料

- A. 算定しない B. 9点 C. 63点 D. 81点 E. 90点

(3) 初診料と救急医療管理加算

- A. 9,760円 B. 45,760円 C. 47,010円 D. 57,760円 E. 63,760円

(4) 入院室料加算

- A. 68,600円 B. 70,000円 C. 88,200円 D. 98,000円 E. 100,000円

(5) 食事療養費

- A. 13,420円 B. 15,250円 C. 16,940円 D. 17,250円 E. 19,250円

診 療 録

患者氏名：宮林 達哉（男）

生年月日：平成7年7月7日

事業所所在地：大阪府岸和田市岸城町9-2

名称：上城製菓

傷病名：左鎖骨骨折、左前腕擦過創、頭部・腰部打撲

診療開始日：令和3年3月29日

既往症・原因・主要症状・経過等	処方・手術・処置等
<p>3.29（月）18：45 緊急初診 高所の換気扇清掃中に転落 主訴：左肩、頭部・腰部を強打 →左肩痛、頭部・腰部痛（++） 左前腕出血（++） 意識清明</p> <p>X-P、CT撮影結果→左鎖骨骨折 頭部異常なし</p> <p>骨折に対して徒手整復 →プラスチックギプスで固定</p> <p>同僚が5号用紙持参</p>	<p>3.29 19：00 緊急X-P、CT</p> <p>腰部デジタルX-P（2回撮影） 左肩デジタルX-P（1回撮影） 右肩デジタルX-P（1回撮影） 頭部CT撮影</p> <p style="text-align: right;">} 電子画像管理</p> <p>左鎖骨骨折非観血的整復術 →鎖骨プラスチックギプス</p> <p>左前腕創傷処置（10cm×7cm） ゲンタシン軟膏0.1% 1mg 2g</p> <p>腰部湿布処置（半肢大） フェルビナクパップ70mg 10cm×14cm 2枚</p> <p>院外処方 ロキフェン錠 60mg 3T 分3×7TD フェルビナクパップ70mg 10cm×14cm 14枚 (1日2枚使用)</p>
<p>3.30（火） 左肩、腰部痛（+） 日常生活動作について療養指導</p>	<p>3.30 ①左前腕処置 do ②腰部処置 do</p>
<p>3.31（水） 日常生活動作について療養指導</p>	<p>3.31 ①②処置do 院外処方 ゲンタシン軟膏0.1% 1mg 10g</p>

- (1) A 枠の記載で、正しいものを1つ選びなさい。
- ① A 枠内の記載に誤りはない。
 - ② 転帰事由は、「1」が正しい。
 - ③ 療養期間は右マスの9 0 3 0 3 3 1は記入不要。
 - ④ 診療実日数は2日が正しい。
- (2) B 枠の記載で、正しいものをすべて選びなさい。
- ① B 枠内の記載に誤りはない。
 - ② 氏名は西田 晃大が正しい。
 - ③ 事業所の名称は上城製菓が正しい。
 - ④ 骨折の部位は左鎖骨が正しい。
- (3) C 枠の記載で、正しいものをすべて選びなさい。
- ① C 枠内の記載に誤りはない。
 - ② 初診料の時間外加算は算定できない。
 - ③ 初診料の時間外加算は85点が正しい。
 - ④ 外来管理加算は 52×3 が正しい。
 - ⑤ 明細書発行体制等加算は3点が正しい。
- (4) D 枠の記載で、正しいものをすべて選びなさい。
- ① D 枠内の記載に誤りはない。
 - ② 初診料の金額は3,760円が正しい。
 - ③ 外来管理加算の特例は(特) 52×1 が正しい。
 - ④ (80) その他欄への救急医療管理加算と療養の給付請求書取扱料の金額記入漏れ。
- (5) E 枠の記載で、正しいものをすべて選びなさい。
- ① E 枠内の記載に誤りはない。
 - ② 創傷処置(100cm²未満)左前腕 $(52 \times 1.5) 78 \times 3$ が正しい。
 - ③ 創傷処置(100cm²未満)左前腕 $(52 \times 1.5) 78 \times 2$ が正しい。
 - ④ 鎖骨ギプス包帯(左) 外 $1,750 \times 1$ が正しい。
 - ⑤ 鎖骨ギプス包帯(左) 外 $(1,250 \times 1.5 \times 1.4) 2,625 \times 1$ が正しい。
- (6) F 枠の記載で、正しいものをすべて選びなさい。
- ① F 枠内の記載に誤りはない。
 - ② 消炎鎮痛等処置(湿布)(腰部) 35×3 が正しい。
 - ③ 消炎鎮痛等処置(湿布)(腰部) $(35 \times 1.5) 53 \times 2$ が正しい。
 - ④ 消炎鎮痛等処置(湿布)(腰部)は算定できない。
 - ⑤ フェルビナクパップ70mg 10cm \times 14cm 2枚 3×3 が正しい。

(7) G枠の記載で、正しいものをすべて選びなさい。

- ① G枠内の記載に誤りはない。
- ② 骨折非観血的整復術（左鎖骨）外 29日（1,600×1.4×1.5） 3,360×1が正しい。
- ③ 骨折非観血的整復術（左鎖骨）外 29日（1,440×1.4×1.5） 3,024×1が正しい。
- ④ 骨折非観血的整復術（左鎖骨）外 29日 2,016×1が正しい。

(8) H枠の記載で、正しいものをすべて選びなさい。

- ① H枠内の記載に誤りはない。
- ② 緊画 29日 19:00 110×1の算定漏れ。
- ③ 左肩デジタル、右肩デジタルは 両肩デジタルX-P（2回撮影） 電画 287×1が正しい。
- ④ コンピューター断層診断 450×1の算定漏れ。

(9) I枠の記載で、正しいものをすべて選びなさい。

- ① I枠内の記載に誤りはない。
- ② 処方箋料は算定できない。
- ③ 処方箋料3は 68×1が正しい。

診 療 録

患者氏名： 鈴木 与志夫 (男) 生年月日： 昭和49年1月29日
 事業所所在地： 東京都北区赤羽西5-2-15 名称： 株式会社 三春
 傷病名： 右手第2指・第3指骨折、右前腕部切創、右鎖骨骨折、腰部・頭部打撲、脳震盪
 診療開始日： 令和3年3月28日

既往症・原因・主要症状・経過等	処方・手術・処置等
3.28 (日) 14:00救急車で搬送 (食無) トラックの荷台から降りる際に足を取られて転落 右半身と頭部を強打 意識は失ったが直ぐに回復 悪心、嘔吐 (-) 右前腕部切創 筋肉に達しない 8cm X-P、CT結果 右手第2指・第3指骨折 右鎖骨骨折 頭部、右前腕→骨折等なし 安静、観察のため入院 個室に収容 303号室 病衣貸与 同僚が5号用紙持参 労災診療計画を作成し説明	3.28 14:20 緊急 頭部デジタルX-P (2回撮影) 両手デジタルX-P (2回撮影) 右肩デジタルX-P (2回撮影) 右前腕デジタルX-P (2回撮影) 頭部CT撮影 右前腕部創傷処理 真皮縫合 リドカイン注1% 10mL ポビドンヨード消毒用液 10% 10mL ソフラチュール貼付剤 10cm×10cm 1枚 点滴注射 ラクテックG輸液500mL 1袋 セフォチアム塩酸塩静注用 250mg 1瓶 右鎖骨骨折固定術 消炎鎮痛等処置 (湿布) 腰部 (半肢大) ラクール温シップ 40g 右手第2指・第3指 骨折非観血的整復術 副木・F10-b-1 1本使用 右前腕部 術後創傷処置 ポビドンヨード消毒用液10% 10mL
3.29 (月) (五分粥×3)	3.29 右前腕部・腰部 処置do 点滴注射 ラクテックG輸液500mL 1袋 セフォチアム塩酸塩静注用 250mg 1瓶
3.30 (火) (全粥×3) 頭部MRIは異常なし	3.30 頭部MRI撮影 電子画像管理 右前腕部・腰部 処置do
3.31 (水) (常食×1) 本日退院 次回4/6 10:00整形外科予約	3.31 右前腕部・腰部 処置do 退院時処方 ラクール温シップ 200g 5日分

診療費請求内訳書 (入院用)

診機様式第2号

第1回 (同一傷病について)

指定病院等の番号	省 略	病院等の名称	省 略
----------	-----	--------	-----

① 新継再別 ② 転帰事由 1 初診 1 治癒 3 転医始 3 継続 5 継続 5 転医中 7 再発 7 中止 9 死亡	③ 支払額 百円 千円 円 0 0 0
④ 府県 所管 管轄 基幹 番号 枝番号 1 3 1 1 0 4 0 0 3 2 0 0 0 0	⑤ 増減コード及び増減額 増+減- 百円 千円 円 0 0 0
⑥ 生年月日 ⑦ 傷病年月日 5 4 9 0 1 2 9 9 0 3 0 3 2 8	⑧ 増減理由 ⑨ 決定年月日 0 0 0 0 年 月 日
⑩ 療養期間 ⑪ 診療日数 9 0 3 0 3 2 8 4	⑫ 処理区分 0 0
⑬ 合計額 省 略 円	修正欄 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

労働者の氏名	鈴木 与志夫 (47歳)	傷病の部位及び傷病名	右手第2指・第3指骨折、右前腕部切創、右鎖骨骨折、腰部・頭部打撲、脳震盪
事業の名称	株式会社 三春	傷病の経過	省 略
事業場の所在地	東京都 北 市		

診療内容	点数(点)	診療内容	金額	摘要
⑪ 初診時間外・(休日)・深夜	250	⑪ 初診	3,760円	救急医療管理加算(入院)
⑬ 指導		⑫ その他	6,000円	6,000円×1
⑭ 在宅		⑬ 小計	44,000円	入院室料加算 303号室 ②一工
⑯ 投薬	17	⑭ 食事	省 略 円	備 考
⑰ 注射	7	基準	770円×3回	
⑱ 処置	42	I 食堂	60円×3日	⑮ 省 略 円
⑲ 検査	268	食事療養	3回	⑯ 省 略 円
⑳ 画像診断	1,108	摘要		
㉑ 入院	3	23	ラクル温シップ 200g (5日分)	17×1
㉒ 入院	12,663		退院時処方	
㉓ 入院	28	33	点滴注射 (500mL以上)	97×2
㉔ 入院	28		ラクテックG輸液 500mL 1袋	
㉕ 入院	28		セフォチアム塩酸塩静注用 250mg 1瓶	37×2
㉖ 入院	28	40	創傷処置 (術後) 右前腕 100cm未満	52×4
㉗ 入院	28		鎖骨骨折固定術 (休)	900×1
㉘ 入院	28		ラクル温シップ 40g	3×1
㉙ 入院	28			
㉚ 入院	28			
㉛ 入院	28			
㉜ 入院	28			
㉝ 入院	28			
㉞ 入院	28			
㉟ 入院	28			
㊱ 入院	28			
㊲ 入院	28			
㊳ 入院	28			
㊴ 入院	28			
㊵ 入院	28			
㊶ 入院	28			
㊷ 入院	28			
㊸ 入院	28			
㊹ 入院	28			
㊺ 入院	28			
㊻ 入院	28			
㊼ 入院	28			
㊽ 入院	28			
㊾ 入院	28			
㊿ 入院	28			
小計	省 略 点			

診療費請求内訳書 (続 紙)

指定病院等の番号	省 略	病院等の名称	省 略	労働者の氏名(年齢)	鈴木 与志夫 (47歳)
----------	-----	--------	-----	------------	--------------

労働 保険 番号	府	県	所 管 轄	基 幹 番 号	枝 番 号	年 金 証 書 の 番 号	管 轄 局	種 別	西 暦 年	番 号			
	1	3	1	1	0		4	0	0	3	2	0	0

	摘 要	(続)
⑨	50 創傷処理 (右前腕 筋肉に達しない 8cm) [休] 28日 (850×1.8×1.5)) 2,295×1 リドカイン注1% 10mL ポビドンヨード消毒用液 10% 10mL ソフラチュール貼付剤 10cm×10cm 1枚) 16×1 骨折非観血的整復術 (右手第2指・第3指) [休] 28日 (2,880×1.8×2)) 10,368×1 副木・F10-b-1 (1本 118円) 1本 12×1	
⑩	70 [緊画] 28日 (引き続き入院) 110×1 頭部デジタルX-P(2回撮影) [電画] 287×1 両手デジタルX-P(2回撮影) [電画] 224×1 右肩デジタルX-P(2回撮影) [電画] 287×1 右前腕デジタルX-P (2回撮影) [電画] 224×1	
⑪	頭部CT撮影 28日 (4列以上16列未満マルチスライス型)) 870×1 コンピュータ断層診断 450×1 頭部MRI撮影 [電画] 30日) 1,184×1 (1.5テスラ以上3テスラ未満)	
⑫	90 [緊入] 1,732+18+100+85+390+305+40 1,732+18 1,732+18+160	

(1) A枠の記載で、正しいものを1つ選びなさい。

① A枠内の記載に誤りはない。

② 診機様式第2号

第 回 (同一傷病 について)		指定病院 等の番号
帳票種別 34721	修正項目番号 □□	①新継再別 ②転届事由 1初診 1 3転医始診 3 5継続 7中止 9死亡
④ 府県 所掌 管轄 基幹 番号 枝番号 13110400320000		
⑥ 生年月日 5490129	⑦ 傷病年月日 9030328	
⑩ 療養期間 9030328-9030331		
⑪ 療養費数 □□4日 ⑬ 合計額 □方 □省 □略 □円		

③ 診機様式第2号

第 回 (同一傷病 について)		指定病院 等の番号
帳票種別 34721	修正項目番号 □□	①新継再別 ②転届事由 1初診 1 3転医始診 3 5継続 7中止 9死亡
④ 府県 所掌 管轄 基幹 番号 枝番号 13110400320000		
⑥ 生年月日 5490129	⑦ 傷病年月日 9030328	
⑩ 療養期間 9030328-□□□□		
⑪ 療養費数 □□4日 ⑬ 合計額 □方 □省 □略 □円		

④ 診機様式第2号

第 回 (同一傷病 について)		指定病院 等の番号
帳票種別 34721	修正項目番号 □□	①新継再別 ②転届事由 1初診 1 3転医始診 3 5継続 7中止 9死亡
④ 府県 所掌 管轄 基幹 番号 枝番号 13110400320000		
⑥ 生年月日 5490129	⑦ 傷病年月日 9030328	
⑩ 療養期間 9030328-9030328		
⑪ 療養費数 □□4日 ⑬ 合計額 □方 □省 □略 □円		

⑤ 診機様式第2号

第 回 (同一傷病 について)		指定病院 等の番号
帳票種別 34721	修正項目番号 □□	①新継再別 ②転届事由 1初診 1 3転医始診 3 5継続 7中止 9死亡
④ 府県 所掌 管轄 基幹 番号 枝番号 13110400320000		
⑥ 生年月日 5490129	⑦ 傷病年月日 9030328	
⑩ 療養期間 9030328-9030331		
⑪ 療養費数 □□4日 ⑬ 合計額 □方 □省 □略 □円		

(2) B枠の記載で、正しいものを1つ選びなさい。

① B枠内の記載に誤りはない。

②

⑧0 その他	11,000×3日 (28日～31日) (個室)
-----------	--------------------------------

③

⑧0 その他	10,000×4日 (28日～31日) (個室)
-----------	--------------------------------

④

⑧0 その他	10,000×3日 (28日～31日) (個室)
-----------	--------------------------------

⑤

⑧0 その他	9,000×4日 (個室)
-----------	------------------

⑥

⑧0 その他	9,000×3日 (28日～31日) (個室)
-----------	-------------------------------

(3) C枠の記載で、正しいものを1つ選びなさい。

- ① C枠内の記載に誤りはない。
- ② 救急医療管理加算（入院） 1,250円
6,000円×4
療養の給付請求書取扱料 2,000円
- ③ 救急医療管理加算（入院） 6,000円×3
療養の給付請求書取扱料 2,000円
入院室料加算（303号室）②－エ
- ④ 救急医療管理加算（入院） 6,000円×4
療養の給付請求書取扱料 2,000円
入院室料加算（303号室）②－エ
- ⑤ 救急医療管理加算（入院） 1,250円
6,000円×3
療養の給付請求書取扱料 2,000円
入院室料加算（303号室）②－エ

(4) D枠の記載で、正しいものを1つ選びなさい。

- ① D枠内の記載に誤りはない。

②

基準 I	640円× 3回
	円× 回
	食堂 50円× 3日

③

基準 I	770円× 7回
	円× 回
	食堂 60円× 7日

④

基準 I	770円× 7回
	円× 回
	食堂 60円× 3日

⑤

基準 I	640円× 7回
	円× 回
	食堂 50円× 7日

(5) E枠の記載で、正しいものをすべて選びなさい。

- ① E枠内の記載に誤りはない。
- ② 点滴注射実施料は 97×1 が正しい。
- ③ 点滴注射実施料は算定できない。
- ④ ラクテックG輸液 500mL 1袋
セフォチアム塩酸塩静注用 250mg 1瓶) 38×2 が正しい。

(6) F 枠の記載で、正しいものをすべて選びなさい。

- ① F 枠内の記載に誤りはない。
- ② 創傷処置(術後) 右前腕100cm²未満 $\boxed{\text{休}}$ (52×1.5×1.8) 140×1
創傷処置(術後) 右前腕100cm²未満 (52×1.5) 78×3) が正しい。
- ③ 創傷処置(術後) 右前腕100cm²未満 (52×1.5) 78×4 が正しい。
- ④ 創傷処置(術後) 右前腕100cm²未満 (52×1.5) 78×3 が正しい。
- ⑤ 創傷処置(術後) 右前腕100cm²未満は算定できない。
- ⑥ ポビドンヨード消毒用液10% 10mL 1×4 の算定漏れ。

(7) G 枠の記載で、正しいものをすべて選びなさい。

- ① G 枠内の記載に誤りはない。
- ② 鎖骨骨折固定術 $\boxed{\text{休}}$ (500×1.5×1.8) 1,350×1 が正しい。
- ③ 鎖骨骨折固定術 (500×1.5) 750×1が正しい。
- ④ 消炎鎮痛等処置(湿布) 腰部 35×4 の算定漏れ。
- ⑤ 消炎鎮痛等処置(湿布) 腰部 (35×1.5) 53×4 の算定漏れ。
- ⑥ ラクール温シップ 40g 3×4 が正しい。

(8) H 枠の記載で、正しいものをすべて選びなさい。

- ① H 枠内の記載に誤りはない。
- ② 創傷処理(右前腕、筋肉に達しない、8cm) $\boxed{\text{休}}$ 28日)
真皮縫合 (1,310×1.8×1.5) 3,537×1 が正しい。
- ③ 創傷処理(右前腕、筋肉に達しない、8cm) $\boxed{\text{休}}$ 28日)
真皮縫合 (1,310×1.8×2) 4,716×1 が正しい。
- ④ リドカイン注1% 10mL
ソフラチュール貼付剤 10cm×10cm 1枚) 15×1 が正しい。
- ⑤ 骨折非観血的整復術(第2指・第3指) $\boxed{\text{休}}$ 28日)
(1,440×1.8×2) 5,184×1 が正しい。
- ⑥ 骨折非観血的整復術(第2指・第3指) $\boxed{\text{休}}$ 28日 7,776×1 が正しい。

(9) I 枠の記載で、正しいものをすべて選びなさい。

- ① I 枠内の記載に誤りはない。
- ② $\boxed{\text{緊画}}$ は算定できない。
- ③ $\boxed{\text{緊画}}$ 28日 14時20分(引き続き入院) 110×1 が正しい。
- ④ 頭部デジタルX-P (2回撮影) $\boxed{\text{電画}}$ 224×1 が正しい。
- ⑤ 右手デジタルX-P (1回撮影) $\boxed{\text{電画}}$ 168×1)
左手デジタルX-P (1回撮影) $\boxed{\text{電画}}$ 168×1) が正しい。

(10) J 枠の記載で、正しいものをすべて選びなさい。

- ① J 枠内の記載に誤りはない。
- ② 頭部CT撮影（4列以上16列未満マルチスライス型）電画 28日 870×1 が正しい。
- ③ コンピュータ断層診断 450×2 が正しい。
- ④ 頭部MRI撮影（1.5テスラ以上3テスラ未満）電画 30日 1,450×1 が正しい。

(11) K 枠の記載で、正しいものを1つ選びなさい。

- ① K 枠内の記載に誤りはない。
- ② 病衣貸与料 9×4
2,182+18+100+85+390+305+40
2,182+18
2,182+18+160
- ③ 病衣貸与料 9×1
2,182+18+100+85+390+305+40+160
2,182+18
- ④ 病衣貸与料 9×4
労災治療計画加算 3/28 100×1
2,182+18+100+85+390+305+40
2,182+18
2,182+18+160
- ⑤ 病衣貸与料 9×1
労災治療計画加算 3/28 100×1
1,732+18+100+85+390+305+40
1,732+18
1,732+18+160

第13回 労災事務管理士技能認定試験

令和3年3月実施

■注意事項

1. この問題の解答は、現在施行されている法令等によります。
2. 答えは別紙解答用紙に黒鉛筆（BまたはHB）で記入してください。
※解答を訂正する場合は、消しゴムを使用するか、二重線で消して近くの余白に書き直してください。
3. 解答用紙の所定欄に受験番号と氏名をはっきり記入してください。
4. この試験問題用紙は、試験終了後、答案と一緒に返送してください。

■試験問題（10問）

問1～問8 選択問題

問9、問10 レセプト点検問題

■算定条件

特別な注意書きがない限り次の条件に従います。

- ・労災保険指定医療機関
- ・診療時間：月曜日～金曜日 9：00～18：00
土曜日 9：00～12：00
- ・休診日：日曜日、祝日、12月29日～1月3日
- ・初・再診の紹介率・妥結率での減算には該当しない。
- ・検査は特記がない場合は、すべて自院で実施する。
- ・投薬に関しては、医事会計システムの電算化が行われている。
- ・診療内容及び診療明細書の日付は2021年のカレンダーに基づきます。

※カルテ等は試験用の創作であり、医学的事実に基づいたものではありません。

受験番号： _____

氏名： _____

問1 次の各項のうち、正しいものにはA、誤りのものにはBを記入しなさい。

- (1) 労災保険法では、原則として労働者を1人以上使用するすべての事業が適用事業とされ、事業主は労災保険への加入を義務付けられている。
- (2) 交通事故による通勤災害の治療費は、自賠責保険より労災保険が優先する。
- (3) 労災保険の保険料は事業の危険度等により決められ、事業主と労働者が負担する。
- (4) 労災保険に加入している事業で働くパート社員は適用労働者となる。
- (5) 事業主が行う定期健康診断で異常があった場合、二次健康診断結果に基づく特定保健指導は、医療保険から給付される。

問2 次の各項のうち業務災害にはA、通勤災害にはB、どちらにも該当しないものにはCを選びなさい。

- (1) 就業時間中に事務所の給湯室から火災が発生し、腕をやけどした。
- (2) 通勤途中に立ち寄った公衆トイレで足を滑らせ、転倒し捻挫した。
- (3) 配達中に荷物が足の上に落下して負傷した。
- (4) 会社帰りに映画館に立ち寄り、その後、帰宅途中に通勤経路の駅の階段で転落し負傷した。
- (5) 工事現場で作業終了後、現場の清掃中に落下物で負傷した。

問3 次の各項について、保険給付の内容・種類を下記から選びなさい。

- (1) 通勤災害で傷病が治癒したあとに障害等級10級の障害が残った場合に支給。
- (2) 障害者となった労働者の子供が、保育を必要とする場合に支給。
- (3) 傷病補償年金を受給している者で、常時介護を要する場合に給付。
- (4) 通勤災害で本人が死亡した場合、遺族に対して給付。
- (5) 業務災害による療養のため休業し、賃金が支払われない日が4日以上に及んだ場合に給付。

- | | | | |
|-----------|--------------|------------|------------|
| A. 休業給付 | B. 休業補償給付 | C. 労災就学援護費 | D. 遺族給付 |
| E. 介護給付 | F. 労災就労保育援護費 | G. 障害一時金 | H. 傷病年金 |
| I. 介護補償給付 | J. 傷病補償年金 | K. 遺族補償給付 | L. 障害補償一時金 |

問4 次の各項について、特掲料金で算定するものにはA、特例点数で算定するものにはB、健保点数で算定するものにはC、特例取扱いで算定するものにはDを選びなさい。

- (1) 外来で院内処方の際に発行した薬剤情報提供料
- (2) 診療所で再診時に右下腿～足に行った副木固定
- (3) 初診患者の汚染している創面に行った初診時ブラッシング料
- (4) CT撮影を月に2回行った場合の2回目の撮影料
- (5) 入院時食事療養費

問5 次の（ ）に適合する正しいものを下記から選びなさい。

- (1) 労災保険における「治ゆ」は（ ）が認定する。
- (2) 市町村が開設する病院で行う労災診療の費用は、1点あたり（ ）で算定する。
- (3) 業務災害で労災保険指定医療機関を受診する場合、医療機関に提出する書類は（ ）である。
- (4) 四肢特例加算を行い小数点以下の端数が生じた場合、1点未満の端数は（ ）して算定する。
- (5) 振動障害に係る常温下で行う手指の皮膚温検査は（ ）につきで算定する。

A. 10円	B. 11.5円	C. 12円	D. 担当医師	E. 切捨て
F. 労働基準監督署長	G. 両手	H. 切上げ	I. 労働局長	J. 1指
K. 片手	L. 四捨五入	M. 療養補償給付たる療養の給付請求書		
N. 療養給付たる療養の給付請求書	O. 1指1回			

問6 次の各項について、正しいものを選びなさい。（外来管理加算（特例）は考慮外とする）

- (1) 初診時に救急医療を行い、8日間入院した場合の救急医療管理加算は（A. 6,300円
B. 44,100円 C. 50,400円）となる。（様式第5号持参、120床病院）
- (2) 救急初診（診療時間内）の患者に熱傷処置（左下腿120cm²）を行った。診察料及び処置料は
（A. 5,820円+147点 B. 7,070円+147点 C. 7,070円+221点）となる。
（様式第5号持参、100床病院）
- (3) 救急初診（時間外）の患者に汚染部のブラッシング後、創傷処置（左足80cm²）を行った。
処置料は（A. 78点 B. 169点 C. 236点）となる。（様式第5号持参、診療所）
- (4) 再診時に背部に湿布処置（半肢の大部）、両膝と両肩にホットパックを行った。
この場合の処置料の合計は（A. 141点 B. 159点 C. 212点）となる。（診療所・負傷）
- (5) 診療時間外の21時50分に来院した患者に22時10分から足の指2本に骨折非観血的整復術を行った。
手術料は（A. 3,024点 B. 3,888点 C. 7,776点）となる。（様式第5号持参、80床病院）

問7 次の各項について、請求合計点数を下記から選びなさい。

（同一患者、外来、再診時、外来管理加算（特例）を考慮する）

- (1) 左前腕（80cm²）、左腹部（80cm²）の切傷にそれぞれ創傷処置を行った。（150床病院）
- (2) 運動器リハビリテーション（Ⅲ）を股関節に20分、右膝介達牽引、腰部ホットパックを同一日に
行った。（病院50床）
- (3) 右眼に点眼と精密視野検査を行った。（診療所）
- (4) 右手の指3本に骨折非観血的整復術を行った。（診療所）
- (5) 左手第3指の筋肉に達する切創（3cm）に創傷処理を行った。（120床病院）

A. 90点	B. 115点	C. 129点	D. 130点	E. 175点	F. 181点	G. 215点
H. 268点	I. 940点	J. 2,500点	K. 2,880点	L. 5,760点	M. 8,640点	

問8 次の条件の労災指定医療機関に業務災害の負傷により午後2時就労先から入院した場合の令和3年3月分の請求について、(1)～(5)の各問に答えなさい。

- ・病院（195床、地域一般入院料2、医療安全対策加算2、診療録管理体制加算2、医師事務作業補助体制加算2 100対1、データ提出加算2）
- ・労災治療計画を策定し令和3年3月3日に文書で説明
- ・入院期間 令和3年3月2日～3月11日
- ・所在地 大阪府大阪市（2級地）
- ・病衣貸与 入院初日から全日貸与
- ・個室収容（要件①、②－エ） 入院初日から全日（1日9,800円）
- ・食事療養（I）、食事はすべて常食を提供
（入院当日食事提供なし、退院日の11日は朝食のみ提供、他はすべて1日3食提供）

(1) 入院基本料と入院基本料等加算

- A. 15,658点 B. 16,698点 C. 18,194点 D. 20,008点 E. 20,158点

(2) 病衣貸与料

- A. 算定しない B. 10点 C. 70点 D. 90点 E. 100点

(3) 初診料と救急医療管理加算

- A. 10,120円 B. 47,920円 C. 49,170円 D. 60,520円 E. 66,820円

(4) 入院室料加算

- A. 68,600円 B. 70,000円 C. 88,200円 D. 98,000円 E. 100,000円

(5) 食事療養費

- A. 13,420円 B. 15,250円 C. 16,940円 D. 17,250円 E. 19,250円

診 療 録

患者氏名：宮林 達哉（男）

生年月日：平成7年7月7日

事業所所在地：大阪府岸和田市岸城町9-2

名称：上城製菓

傷病名：左鎖骨骨折、左前腕擦過創、頭部・腰部打撲

診療開始日：令和3年3月29日

既往症・原因・主要症状・経過等	処方・手術・処置等
<p>3.29（月）18：45 緊急初診 高所の換気扇清掃中に転落 主訴：左肩、頭部・腰部を強打 →左肩痛、頭部・腰部痛（++） 左前腕出血（++） 意識清明</p> <p>X-P、CT撮影結果→左鎖骨骨折 頭部異常なし</p> <p>骨折に対して徒手整復 →プラスチックギプスで固定</p> <p>同僚が5号用紙持参</p>	<p>3.29 19：00 緊急X-P、CT</p> <p>腰部デジタルX-P（2回撮影） 左肩デジタルX-P（1回撮影） 右肩デジタルX-P（1回撮影） 頭部CT撮影</p> <p style="text-align: right;">} 電子画像管理</p> <p>左鎖骨骨折非観血的整復術 →鎖骨プラスチックギプス</p> <p>左前腕創傷処置（10cm×7cm） ゲンタシン軟膏0.1% 1mg 2g</p> <p>腰部湿布処置（半肢大） フェルビナクパップ70mg 10cm×14cm 2枚</p> <p>院外処方 ロキフェン錠 60mg 3T 分3×7TD フェルビナクパップ70mg 10cm×14cm 14枚 (1日2枚使用)</p>
<p>3.30（火） 左肩、腰部痛（+） 日常生活動作について療養指導</p>	<p>3.30 ①左前腕処置 do ②腰部処置 do</p>
<p>3.31（水） 日常生活動作について療養指導</p>	<p>3.31 ①②処置do 院外処方 ゲンタシン軟膏0.1% 1mg 10g</p>

- (1) A 枠の記載で、正しいものを1つ選びなさい。
- ① A 枠内の記載に誤りはない。
 - ② 転帰事由は、「1」が正しい。
 - ③ 療養期間は右マスの9030331は記入不要。
 - ④ 診療実日数は2日が正しい。
- (2) B 枠の記載で、正しいものをすべて選びなさい。
- ① B 枠内の記載に誤りはない。
 - ② 氏名は西田 晃大が正しい。
 - ③ 事業所の名称は上城製菓が正しい。
 - ④ 骨折の部位は左鎖骨が正しい。
- (3) C 枠の記載で、正しいものをすべて選びなさい。
- ① C 枠内の記載に誤りはない。
 - ② 初診料の時間外加算は算定できない。
 - ③ 初診料の時間外加算は85点が正しい。
 - ④ 外来管理加算は 52×3 が正しい。
 - ⑤ 明細書発行体制等加算は3点が正しい。
- (4) D 枠の記載で、正しいものをすべて選びなさい。
- ① D 枠内の記載に誤りはない。
 - ② 初診料の金額は3,820円が正しい。
 - ③ 外来管理加算の特例は(特) 52×1 が正しい。
 - ④ (80) その他欄への救急医療管理加算と療養の給付請求書取扱料の金額記入漏れ。
- (5) E 枠の記載で、正しいものをすべて選びなさい。
- ① E 枠内の記載に誤りはない。
 - ② 創傷処置(100cm²未満)左前腕(52×1.5) 78×3 が正しい。
 - ③ 創傷処置(100cm²未満)左前腕(52×1.5) 78×2 が正しい。
 - ④ 鎖骨ギプス包帯(左) 外 $1,750 \times 1$ が正しい。
 - ⑤ 鎖骨ギプス包帯(左) 外 ($1,250 \times 1.5 \times 1.4$) $2,625 \times 1$ が正しい。
- (6) F 枠の記載で、正しいものをすべて選びなさい。
- ① F 枠内の記載に誤りはない。
 - ② 消炎鎮痛等処置(湿布)(腰部) 35×3 が正しい。
 - ③ 消炎鎮痛等処置(湿布)(腰部) (35×1.5) 53×2 が正しい。
 - ④ 消炎鎮痛等処置(湿布)(腰部)は算定できない。
 - ⑤ フェルビナクパップ70mg 10cm \times 14cm 2枚 3×3 が正しい。

(7) G枠の記載で、正しいものをすべて選びなさい。

- ① G枠内の記載に誤りはない。
- ② 骨折非観血的整復術（左鎖骨）外 29日（1,600×1.4×1.5） 3,360×1が正しい。
- ③ 骨折非観血的整復術（左鎖骨）外 29日（1,440×1.4×1.5） 3,024×1が正しい。
- ④ 骨折非観血的整復術（左鎖骨）外 29日 2,016×1が正しい。

(8) H枠の記載で、正しいものをすべて選びなさい。

- ① H枠内の記載に誤りはない。
- ② 緊画 29日 19:00 110×1の算定漏れ。
- ③ 左肩デジタル、右肩デジタルは 両肩デジタルX-P（2回撮影） 電画 287×1が正しい。
- ④ コンピューター断層診断 450×1の算定漏れ。

(9) I枠の記載で、正しいものをすべて選びなさい。

- ① I枠内の記載に誤りはない。
- ② 処方箋料は算定できない。
- ③ 処方箋料3は 68×1が正しい。

診 療 録

患者氏名： 鈴木 与志夫 (男) 生年月日： 昭和49年1月29日
 事業所所在地： 東京都北区赤羽西5-2-15 名称： 株式会社 三春
 傷病名： 右手第2指・第3指骨折、右前腕部切創、右鎖骨骨折、腰部・頭部打撲、脳震盪
 診療開始日： 令和3年3月28日

既往症・原因・主要症状・経過等	処方・手術・処置等
<p>3.28 (日) 14:00救急車で搬送 (食無) トラックの荷台から降りる際に足を取られて転落 右半身と頭部を強打 意識は失ったが直ぐに回復 悪心、嘔吐 (-) 右前腕部切創 筋肉に達しない 8cm X-P、CT結果 右手第2指・第3指骨折 右鎖骨骨折 頭部、右前腕→骨折等なし</p> <p>安静、観察のため入院 個室に収容 303号室 病衣貸与 同僚が5号用紙持参 労災診療計画を作成し説明</p>	<p>3.28 14:20 緊急</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>頭部デジタルX-P (2回撮影) 両手デジタルX-P (2回撮影) 右肩デジタルX-P (2回撮影) 右前腕デジタルX-P (2回撮影) 頭部CT撮影</p> </div> <div style="flex: 0.2; text-align: center; font-size: 2em;">}</div> <div style="flex: 0.2; vertical-align: middle;">電子画像管理</div> </div> <p>右前腕部創傷処理 真皮縫合 リドカイン注1% 10mL ポビドンヨード消毒用液 10% 10mL ソフラチュール貼付剤 10cm×10cm 1枚 点滴注射 ラクテックG輸液500mL 1袋 セフォチアム塩酸塩静注用 250mg 1瓶</p> <p>右鎖骨骨折固定術 消炎鎮痛等処置 (湿布) 腰部 (半肢大) ラクール温シップ 40g 右手第2指・第3指 骨折非観血的整復術 副木・F10-b-1 1本使用 右前腕部 術後創傷処置 ポビドンヨード消毒用液10% 10mL</p>
<p>3.29 (月) (五分粥×3)</p>	<p>3.29 右前腕部・腰部 処置do 点滴注射 ラクテックG輸液500mL 1袋 セフォチアム塩酸塩静注用 250mg 1瓶</p>
<p>3.30 (火) (全粥×3) 頭部MRIは異常なし</p>	<p>3.30 頭部MRI撮影 電子画像管理 右前腕部・腰部 処置do</p>
<p>3.31 (水) (常食×1) 本日退院 次回4/6 10:00整形外科予約</p>	<p>3.31 右前腕部・腰部 処置do 退院時処方 ラクール温シップ 200g 5日分</p>

診療費請求内訳書 (入院用)

診機様式第2号

第1回 (同一傷病について)

指定病院等の番号	省 略	病院等の名称	省 略
----------	-----	--------	-----

① 新継別 ② 転帰事由 1 初診 1 治癒 3 転医 3 継続 5 継続 5 転医 7 再発 7 中止 9 死亡	③ 支払額 百円 千円 円 0 0 0
④ 府県 所管 管轄 基幹番号 枝番号 1 3 1 1 0 4 0 0 3 2 0 0 0 0	⑤ 増減コード及び増減額 増+減- 百円 千円 円 0 0 0
⑥ 生年月日 1 明治 3 大正 5 昭和 7 平成 9 各年 5 4 9 0 1 2 9	⑦ 傷病年月日 9 0 3 0 3 2 8
⑧ 増減理由 0 0	⑨ 決定年月日 1 1から9月は右へ 1から9月は右へ 1から9月は右へ 0 0 年 月 日
⑩ 療養期間 9 0 3 0 3 2 8 -	⑫ 処理区分 0 0
⑪ 診療日数 0 0 4 日	⑬ 合計額 百円 千円 円 省 略

修正欄

百円	千円	円
0	0	0

労働者の氏名	鈴木 与志夫 (47歳)	傷病の部位及び傷病名	右手第2指・第3指骨折、右前腕部切創、右鎖骨骨折、腰部・頭部打撲、脳震盪
事業の名称	株式会社 三春	傷病の経過	省 略
事業場の所在地	東京都 北 市		

診療内容	点数(点)	診療内容	金額	摘要
⑪ 初診時間外・(休日)・深夜	250	⑪ 初診	3,820円	救急医療管理加算(入院) 6,300円×1 入院室料加算 303号室 ②一工
⑬ 指導		⑧ その他 (B) 11,000×4日(個室)	6,300円	
⑭ 在宅		小計 ⑩ 省略	44,000円	
⑳ 投薬 ① 内服 ② 屯服 ③ 外用 ④ 調剤 ⑤ 麻毒 ⑥ 調基	17 7 42	㉞ 食事 基準 I 食堂	770円×3回 60円×3日	備考 ① 省略
㉟ 注射 ① 皮下筋肉内 ② 静脈内 ③ その他	4 270	食事療養	3回	
㊱ 処置 薬剤	5 1,108	摘要		
㊲ 検査 薬剤	2 3,516	23 ラクール温シップ 200g(5日分) 退院時処方		17×1
㊳ 画像診断 薬剤	8 3,516	33 点滴注射(500mL以上) ラクテックG輸液 500mL 1袋 セフォチアム塩酸塩静注用 250mg 1瓶		98×2 37×2
⑨ 入院 急一般7 録管1 安全1 感防1 医2の50 後使2 テ提2	3年3月28日 ① 入院基本料・加算 2,937 × 1日間 1,815 × 3日間 × 日間 × 日間 ② 特定入院料・その他	40 創傷処置(術後)右前腕 100cm未満 鎖骨骨折固定術(休) ラクール温シップ 40g		52×4 900×1 3×1
小計	省略	点①	円	

診療費請求内訳書 (続 紙)

指定病院等の番号	省 略	病院等の名称	省 略	労働者の氏名(年齢)	鈴木 与志夫 (47歳)
----------	-----	--------	-----	------------	--------------

労働 保険 番号	府	県	所 掌 管 轄	基 幹 番 号	枝 番 号	年 金 証 書 の 番 号	管 轄 局	種 別	西 暦 年	番 号			
	1	3	1	1	0		4	0	0	3	2	0	0

	摘 要	(続)
⑧	50 創傷処理 (右前腕 筋肉に達しない 8cm) [休] 28日 (850×1.8×1.5)) 2,295×1 リドカイン注1% 10mL ポビドンヨード消毒液 10% 10mL ソフラチュール貼付剤 10cm×10cm 1枚) 16×1 骨折非観血的整復術 (右手第2指・第3指) [休] 28日 (2,880×1.8×2)) 10,368×1 副木・F10-b-1 (1本 118円) 1本 12×1	
⑨	70 [緊画] 28日 (引き続き入院) 110×1 頭部デジタルX-P(2回撮影) [電画] 287×1 両手デジタルX-P(2回撮影) [電画] 224×1 右肩デジタルX-P(2回撮影) [電画] 287×1 右前腕デジタルX-P (2回撮影) [電画] 224×1	
⑩	頭部CT撮影 28日 (4列以上16列未満マルチスライス型)) 750×1 コンピュータ断層診断 450×1 頭部MRI撮影 [電画] 30日) 1,184×1 (1.5テスラ以上3テスラ未満)	
⑪	90 [緊入]	
⑫	1,797+18+100+85+390+355+42+150 1,797+18	

(1) A枠の記載で、正しいものを1つ選びなさい。

① A枠内の記載に誤りはない。

② 診機様式第2号

第 回 (同一傷病について)		指定病院等の番号
帳票種別	修正項目番号	①新継再別 ②転届事由
34721		1初診 1 3転居始診 1 5継続 7 7再発 9
④ 府県 所掌 管轄 基幹番号 枝番号	④ 府県 所掌 管轄 基幹番号 枝番号	
13110400320000	13110400320000	
⑥ 生年月日	⑦ 傷病年月日	
5490129	9030328	
⑩ 療養期間	⑩ 療養期間	
9030328-9030331	9030328-9030331	
⑪ 療養費数	⑬ 合計	
4日	省 略	

③ 診機様式第2号

第 回 (同一傷病について)		指定病院等の番号
帳票種別	修正項目番号	①新継再別 ②転届事由
34721		1初診 1 3転居始診 3 5継続 統 7 7再発 9
④ 府県 所掌 管轄 基幹番号 枝番号	④ 府県 所掌 管轄 基幹番号 枝番号	
13110400320000	13110400320000	
⑥ 生年月日	⑦ 傷病年月日	
5490129	9030328	
⑩ 療養期間	⑩ 療養期間	
9030328-	9030328-	
⑪ 療養費数	⑬ 合計	
4日	省 略	

④ 診機様式第2号

第 回 (同一傷病について)		指定病院等の番号
帳票種別	修正項目番号	①新継再別 ②転届事由
34721		1初診 1 3転居始診 統 3 5継続 統 7 7再発 9
④ 府県 所掌 管轄 基幹番号 枝番号	④ 府県 所掌 管轄 基幹番号 枝番号	
13110400320000	13110400320000	
⑥ 生年月日	⑦ 傷病年月日	
5490129	9030328	
⑩ 療養期間	⑩ 療養期間	
9030328-9030328	9030328-9030328	
⑪ 療養費数	⑬ 合計	
4日	省 略	

⑤ 診機様式第2号

第 回 (同一傷病について)		指定病院等の番号
帳票種別	修正項目番号	①新継再別 ②転届事由
34721		1初診 1 3転居始診 統 3 5継続 統 7 7再発 9
④ 府県 所掌 管轄 基幹番号 枝番号	④ 府県 所掌 管轄 基幹番号 枝番号	
13110400320000	13110400320000	
⑥ 生年月日	⑦ 傷病年月日	
5490129	9030328	
⑩ 療養期間	⑩ 療養期間	
9030328-9030331	9030328-9030331	
⑪ 療養費数	⑬ 合計	
4日	省 略	

(2) B枠の記載で、正しいものを1つ選びなさい。

① B枠内の記載に誤りはない。

②

⑧0 その 他	11,000×3日 (28日～31日) (個室)
---------------	--------------------------------

③

⑧0 その 他	10,000×4日 (28日～31日) (個室)
---------------	--------------------------------

④

⑧0 その 他	10,000×3日 (28日～31日) (個室)
---------------	--------------------------------

⑤

⑧0 その 他	9,000×4日 (個室)
---------------	------------------

⑥

⑧0 その 他	9,000×3日 (28日～31日) (個室)
---------------	-------------------------------

(3) C枠の記載で、正しいものを1つ選びなさい。

- ① C枠内の記載に誤りはない。
- ② 救急医療管理加算（入院） 1,250円
6,300円×4
療養の給付請求書取扱料 2,000円
- ③ 救急医療管理加算（入院） 6,300円×3
療養の給付請求書取扱料 2,000円
入院室料加算（303号室）②－エ
- ④ 救急医療管理加算（入院） 6,300円×4
療養の給付請求書取扱料 2,000円
入院室料加算（303号室）②－エ
- ⑤ 救急医療管理加算（入院） 1,250円
6,300円×3
療養の給付請求書取扱料 2,000円
入院室料加算（303号室）②－エ

(4) D枠の記載で、正しいものを1つ選びなさい。

- ① D枠内の記載に誤りはない。

②

基準 I	640円× 3回
	円× 回
	食堂 50円× 3日

③

基準 I	770円× 7回
	円× 回
	食堂 60円× 7日

④

基準 I	770円× 7回
	円× 回
	食堂 60円× 3日

⑤

基準 I	640円× 7回
	円× 回
	食堂 50円× 7日

(5) E枠の記載で、正しいものをすべて選びなさい。

- ① E枠内の記載に誤りはない。
- ② 点滴注射実施料は 98×1 が正しい。
- ③ 点滴注射実施料は算定できない。
- ④ ラクテックG輸液 500mL 1袋
セフォチアム塩酸塩静注用 250mg 1瓶) 38×2 が正しい。

(6) F 枠の記載で、正しいものをすべて選びなさい。

- ① F 枠内の記載に誤りはない。
- ② 創傷処置(術後) 右前腕100cm²未満 $\boxed{\text{休}}$ (52×1.5×1.8) 140×1
創傷処置(術後) 右前腕100cm²未満 (52×1.5) 78×3) が正しい。
- ③ 創傷処置(術後) 右前腕100cm²未満 (52×1.5) 78×4 が正しい。
- ④ 創傷処置(術後) 右前腕100cm²未満 (52×1.5) 78×3 が正しい。
- ⑤ 創傷処置(術後) 右前腕100cm²未満は算定できない。
- ⑥ ポビドンヨード消毒用液10% 10mL 1×4 の算定漏れ。

(7) G 枠の記載で、正しいものをすべて選びなさい。

- ① G 枠内の記載に誤りはない。
- ② 鎖骨骨折固定術 $\boxed{\text{休}}$ (500×1.5×1.8) 1,350×1 が正しい。
- ③ 鎖骨骨折固定術 (500×1.5) 750×1が正しい。
- ④ 消炎鎮痛等処置(湿布) 腰部 35×4 の算定漏れ。
- ⑤ 消炎鎮痛等処置(湿布) 腰部 (35×1.5) 53×4 の算定漏れ。
- ⑥ ラクール温シップ 40g 3×4 が正しい。

(8) H 枠の記載で、正しいものをすべて選びなさい。

- ① H 枠内の記載に誤りはない。
- ② 創傷処理(右前腕、筋肉に達しない、8cm) $\boxed{\text{休}}$ 28日)
真皮縫合 (1,310×1.8×1.5)) 3,537×1 が正しい。
- ③ 創傷処理(右前腕、筋肉に達しない、8cm) $\boxed{\text{休}}$ 28日)
真皮縫合 (1,310×1.8×2)) 4,716×1 が正しい。
- ④ リドカイン注1% 10mL
ソフラチュール貼付剤 10cm×10cm 1枚) 15×1 が正しい。
- ⑤ 骨折非観血的整復術(第2指・第3指) $\boxed{\text{休}}$ 28日)
(1,440×1.8×2)) 5,184×1 が正しい。
- ⑥ 骨折非観血的整復術(第2指・第3指) $\boxed{\text{休}}$ 28日 7,776×1 が正しい。

(9) I 枠の記載で、正しいものをすべて選びなさい。

- ① I 枠内の記載に誤りはない。
- ② $\boxed{\text{緊画}}$ は算定できない。
- ③ $\boxed{\text{緊画}}$ 28日 14時20分(引き続き入院) 110×1 が正しい。
- ④ 頭部デジタルX-P(2回撮影) $\boxed{\text{電画}}$ 224×1 が正しい。
- ⑤ 右手デジタルX-P(1回撮影) $\boxed{\text{電画}}$ 168×1)
左手デジタルX-P(1回撮影) $\boxed{\text{電画}}$ 168×1) が正しい。

(10) J 枠の記載で、正しいものをすべて選びなさい。

- ① J 枠内の記載に誤りはない。
- ② 頭部CT撮影（4列以上16列未満マルチスライス型）電画 28日 870×1 が正しい。
- ③ コンピュータ断層診断 450×2 が正しい。
- ④ 頭部MRI撮影（1.5テスラ以上3テスラ未満）電画 30日 1,450×1 が正しい。

(11) K 枠の記載で、正しいものを1つ選びなさい。

- ① K 枠内の記載に誤りはない。
- ② 病衣貸与料
1,797+18+100+85+390+355+42+150 10×4
1,797+18
- ③ 病衣貸与料
2,247+18+100+85+390+355+42+150 10×1
2,247+18
- ④ 病衣貸与料
2,247+18+100+85+390+355+42+150 10×4
2,247+18
- ⑤ 病衣貸与料
1,797+18+100+85+390+355+42+150 10×1
1,797+18